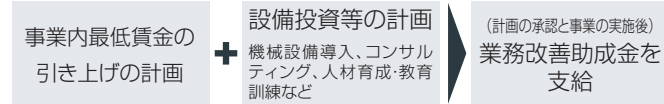


# 業務改善助成金って？

業務改善助成金は、生産性向上に資する設備投資等（機械設備、コンサルティング導入や人材育成・教育訓練）を行うとともに、事業場内最低賃金を一定額（各コースに定める金額）以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成するものです。



**助成上限額** (令和5年度)\* **最大600万円**  
※助成上限額は変更となる可能性があります。

## 対象事業者・申請の単位

- ✓ 中小企業・小規模事業者
- ✓ 事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が交付要綱で定める範囲内
- ✓ 解雇、賃金引き下げなどの不交付事由がない

**事業場ごとに申請**  
(工場や店舗など)

- 過去に業務改善助成金を活用した事業者も助成対象となります。
- 交付決定前に助成対象設備の導入を行った場合は助成の対象なりません。

## 詳しくは

業務改善助成金 |  [mhlw.go.jp](https://mhlw.go.jp)

- 申請の際は、厚生労働省のウェブサイトですべて最新の交付要綱・要領をご確認ください。

## 申請窓口

東京労働局雇用環境・均等部企画課業務改善助成金担当 (「JGrants」による電子申請もご利用いただけます。)

※労働基準監督署・ハローワークでは受付ができませんのでご注意ください。

# 東京都最低賃金

2023(令和5年)10月1日～

**1,113円** 時間額

最低賃金は、毎年10月1日前後に見直されます。

## 詳しくは

最低賃金特設サイト ([saiteichingin.info](https://saiteichingin.info))



○最低賃金に関するお問い合わせは  
東京労働局賃金課最低賃金係  
(☎03-3512-1614)  
または、最寄りの労働基準監督署へ

助成金の活用方法？ **相談無料** 生産性向上の方法？  
(東京労働局委託事業)  
**東京働き方改革推進支援センター**  
をご利用ください！

中小企業・小規模事業者が抱える働き方改革の様々な課題について、社労士等の専門家が電話・窓口相談、訪問コンサルティング、セミナー開催・講師派遣等のサービスをワンストップで行います。

- 賃金引上げ
- 各種助成金
- 同一労働同一賃金
- 人手不足・生産性向上
- 労務管理(労働時間管理等)
- 就業規則改定

## <お問い合わせ先>

☎ **0120-232-865**

(受付時間：平日 9:00～17:00) ※年末年始を除く

▼東京働き方改革推進支援センターHP <https://hatarakikata-kaikaku.mhlw.go.jp/consultation/tokyo/>



▼ご相談申し込みフォーム <https://form.run/@hatarakikata-tokyo-1656405882>



あなたの街で、**広がってます!** 資料3

中小企業・小規模事業者の  
みなさん  
もう知っていますか？

業務を  
改善して  
従業員の賃金を  
引き上げると貰える  
**助成金**

活用事例をチェック! ⇒

# あのお店も この会社も 賃金引上げの助成金、こんな使い方をしていきます！

## 業務改善助成金

【事業内容：クリーニング業 従業員数：5人】

【経緯】レジシステムが旧型で操作性が悪く、混雑時にはレジ待ちが発生していた。また、商品の包装に手間がかかり、時間を要していた。そのため、システムと機器の導入による業務効率化を検討した。

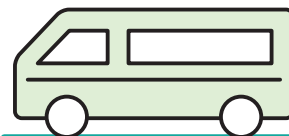
**改善!** POS レジシステム & 半自動立体包装機の導入

【成果】会計処理や商品包装の効率化により生産性が向上し、3人の社員の時間給（事業場内最低賃金）を**90円引き上げた**。UP!



もっと!

活用事例は、「生産性向上のヒント集」や厚生労働省ウェブサイトにも掲載されています。



【事業内容：宿泊業 従業員数：35人】

【経緯】既存の送迎バスは、顧客の乗り心地が悪く、不具合対応や部品交換等の修理代や車両の手間もかかっていたため、新型車両への更新を検討した。

**改善!** 新型マイクロバスの導入

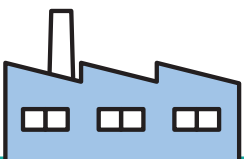
【成果】修理費の削減や燃費の改善により生産性が向上し、12人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を**90円引き上げた**。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。



UP!

情報通信業の改善事例

プロジェクト管理ツールと映像編集ソフトの導入により、情報共有の一元化と複数人の並行作業が可能になり、確認や制作に要する時間が短縮した。



製造業の導入事例

食材カッター、原料充填機、フォークリフト、工程管理システムなど



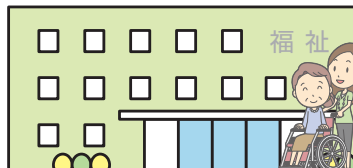
【事業内容：飲食業 従業員数：22人】

【経緯】一度に大量の調理ができなかったり、2階にも1階の製氷機から運ばなければならず、また厨房の動線が悪くて料理の提供に時間がかかっていたため、設備投資による業務効率化を検討した。

**改善!** スチームコンベクションオーブン & 製氷機を導入  
・厨房のレイアウト変更を実施

【成果】料理を提供する工程の効率化により生産性が向上し、4人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を**平均81円引き上げた**。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

UP!



【事業内容：障害者福祉事業 従業員数：35人】

【経緯】車椅子利用者の送迎時には2名で行き介助はすべて人力で行わなければならなかった。また、洗濯機には乾燥機能が無いため干したり取り込んだりする手間と時間がかかり、冷蔵庫は容量が小さいため毎日買い出しに行く必要があった。そのため、車両や機器の導入による業務効率化を検討した。

**改善!** リフト付き福祉車、乾燥機能付き洗濯機、大容量冷蔵庫の導入

【成果】車椅子利用者の送迎、買い出し、洗濯物乾燥の効率化により生産性が向上し、5人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を**90円引き上げた**。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。



UP!